

世附川土沢三ノ沢 初級沢登り講習 山行報告書

- 【山 域】 丹沢
【コース】 世附川土沢三ノ沢
【日 時】 平成29年5月21日（日曜日）
【天 候】 晴れ
【参加者】 CL:花島 SL:渡邊(三) 上茂 大塚 小原 萱野(香) 宮城 松本 室
江橋 砂田 古賀 飯田 高地 佐藤 吉瀬 石井 吉川
【コスト】 明神峠 9:00～読図講習～三ノ沢 10:00-10:15 ～ 入渓 ～ 登下降, ロープワーク講習～
800m 二俣 12:45-13:15 ～ 甲相国境尾根 14:30～14:45 ～ 鉄砲木ノ頭 15:30～
三国峠 15:45

【山行報告】

初級というより沢を初めて登る人を対象に企画しました。そういうジャンル分けがあるなら、三ノ沢は沢登りというよりウォーターウォーキング寄りの沢に分類されるでしょう。一般的に沢は、下流から入るイメージしかなく、丹沢湖から林道を歩いてまで遡行するほどの価値はないとアプローチの不便さから敬遠していました。でも昨年知っちゃいました。その存在を。

で、今回の沢講習で早くも皆様にお披露目することができました。GWに下見に来て講習する場所もあることが確認できました。計画当初は三国林道を下山路としていましたが、甲相国境尾根に変更しました。鉄砲木ノ頭は知ってる人から言わせれば「なに今頃」って話ですが、知らなかったものは仕方ない。知っちゃったらもう行くしかないでしょう。

入山は地図読み目的で地形図に表示されていないバリエーションルートと言えなくもない送電線巡視路としていました。経路上に送電線と鉄塔という格好の目印がありますから、地図読み初心者には最適です。ただ、これは参加人数と遡行時間の制約からあきらめました。せっかく下見したのにチョット残念な気はしますが。とにかく色々頭を悩ませて出来上がったコースでした。

多くの人に参加してもらえよう千葉以遠の人（私もそのひとりですが）に配慮して千葉駅6時集合としました。

アプローチ方法がいくつもあって、コースを決めるのは本当にたいへんでしたが、講習内容のほうはすぐに決まりました。初級者対象に最低限必要な読図、ロープワークに絞りました。一日の講習で出来ることなんてたかが知れてます。今回は、「もっと沢に行きたい」という気持ちを持ってもらえればよいというスタンスで臨みました。

あとは当日の天気だけが心配でしたが、これも杞憂に終わり真夏日予報が出るほどの沢日和となりました。初顔の人や久しぶりに顔を合わせる人もいて、和やかな雰囲気の中、車3台に分乗して出発しました。

途中渋滞もなく、下山口に2台車を回して明神峠から入山する。

即行、読図講習です。地形図、コンパスを使用して、基本中の基本の整置（正置）のやり方と現在地から進む方向を確認する方法の2つを行いました。明神峠から三ノ沢の入渓点までは送電線や沢の横断箇所では地図読みをしながら、談笑しながら小一時間ほど林道を歩く。

ハーネス装着、足ごしらえ、パッキングと慣れていない人もいるなか、入渓準備を終えていよいよ沢に突入です。



（入渓前に全員集合）



(入渓直後の様相 どう？明るい沢でしょ)

ここでうっかりして下見で“ここでやろう”と予定していた講習場所をいつの間にか通り過ぎていました。引き返すのも何なんで小原さんと先行して適当な講習場所探しを始めました。不安になり始めた頃、見つけました。いい場所を。

的確なアドバイスで登高器を使っの登りとトラバースからの懸垂下降と一連の講習を無理なく連続して行えるコースができました。適度な傾斜もあり実戦さながらです。

【講習内容：ロープワーク講習】

- ・登高器、下降器を使用しての登下降講習



(カラビナ掛け替えながらの登高からトラバース)



(からの懸垂下降)

- ・結び方講習（沢でよく使用するものに限定した7種類）
 - ロープとハーネスを結ぶ
 1. ダブルフィギュアエイトノット（中間エイト）
 2. オーバーノット（止め結び）
 - 自己ビレーをする
 3. ガースヒッチ（タイオフ）
 4. (ラウンド)ターンヒッチ
 5. インクノット
 - スリング収納用
 6. チェーンノット
 - シュリング自作用
 7. ダブルフィッシャーマンズノット



(結び方講習)

松本さん、室さん、江橋さん、砂田さん、古賀さん、飯田さん、高地さん、吉瀬さんにたったの希望者宮城さんを加えた9名をグループ分けして、登高・下降・ロープワークと待機時間が出ないようにローテーションで効率よく行えました。

ロープワークでは立木にスリングを掛け、メインロープで自己ビレーをとることでタイオフ・エイトノット・オーバーノット・インクノットの本番想定講習を行いました。

少ない時間での講習でしたので、実際の場面で使うまでにしっかり身に付けてもらいたいですね。

12時になってしまいましたが、気持ちのいい二俣まで遡行を再開する。



(小滝を思い思いのルートで)



(樋状の滝もなんのその)



(中央突破が楽なのに濡れたくない一心?で難しいへつりにチャレンジ)

明るい、どこまでも明るいゴルジュを抜けた二俣で遅い昼食をとる。この先の様相は一変する。

ナメ滝の連続に唯一の滝らしい滝が出てくる。この滝も中央、右、左とそれぞれがルートを選んでしで登って行く。



(18人の遡行に釣り師も譲ってくれました)



(唯一の滝らしい滝)

地形図に表記のある堰堤が出現し、堰堤の先は水流がなくなり一気に源頭の様相になってくる。
その先に待っていたのが、大きなブナの木です。

これだあ～！



どうだあ～！

景観ぶち壊しの堰堤も“ぶっ飛び！”の大ブナに元気をもらってツメを
一気に駆け上がる？四つん這いでね！ 足元は土なのでアリ地獄に陥る
こともなく甲相国境尾根に辿り着く。



（波を打ったような大ブナの樹皮）



(稜線目の最後のツメ)

ここからは稜線歩きのハイキング。緩い登り下りのあと鉄砲木ノ頭までのダラダラ登りの先で出迎えてくれたのは日本一の山でした。ただ登場の仕方が思っていたのと違っていました。樹の間越しにチラチラ見せながらのドォ〜ンだと想像していましたが、いきなりのドォ〜ンには、正直やられました。この感動が言葉と写真で伝えられないのが残念です。



沢登りにきてこんなデッカイ富士山に対峙できてよかった。感動の感覚が鈍い私が思うのだから、参加された方はもっともっと感動したのではないのでしょうか。

最後に、講師の方を含め参加されたメンバーに感謝します。ありがとうございました。

以下は講習に参加された方の感想です。

【記録：花島】



楽しい沢登りができてありがとうございました。

お蔵入りしていた沢道具も日の目を見て喜んでいる事でしょう。

今回の講習は物覚えの悪い私にも、ロープの結び方やビレイの取り方などよくわかり、頭に入りました。(すぐ記憶は消える?!)

いつも使わない両腕、肩が筋肉痛です。

ツメでおサルのように四つん這いで登ったからでしょうか。

落っこちないようにビビりながら登るのは、なかなか刺激的でした。

吉川さんの『楽しくない?!』とおっしゃった言葉がすこーしだけわかったような。 【室】



まずリーダーからのポイント

沢は好きなところを歩いてよい。【補足 決まったルートはないので自分でルートファインディングしてルートを決める】

石は浮石が多いので注意して。

ロープワークと読図

急斜面での自己ビレイ・ロープマンの使い方・トラバース・懸垂下降・ロープ講習

急斜面で、転がり落ちそうだったので、安全確保の意味がよくわかりました。

読図は道標のない沢では必須。堰堤・沢の分岐・高压線・高度等を手掛かりに地形図で現在地を確認。これも沢の魅力の一つでは。

ゴルジュ。

ドボンと落ちた際、お手数をお掛けしました。

でも、その後、気持ちが楽になって、景色を見ながら、前に前に進めました。

沢のきらきらと緑に癒されました。

つめ

堰堤の脇は、周りの土が削れていて、身も心も引き締まる思いでした。

最後の急斜面。久しぶりに、心臓がバクバクになりました。

私としては沢の醜態を味わった気持ちです。

大きな富士山まで見ることができて印象の強い講習となりました。 【吉瀬】



ロープワークや地図読みを学ぶことで安全に沢を登る基礎ができたと思います。

花島さんがおっしゃっていた通り、やらないと忘れてしまいそうです。

沢に行く機会があれば、予習が必須だと感じました。

終始楽しい山行でした。

講師のみなさんに感謝です。

最高の沢日和でしたね！最後の富士山がドーンと出てきたのにも感動しました。 【古賀】



沢講習ではお世話になりました。

ちば山に入り初めての山行が初めての沢登りという事で ドキドキワクワクでしたが、初めから最後まで皆さまにサポートしていただいたおかげで とても楽しく一日を過ごす事が出来ました。

巻きやツメは全く未知の世界で想像以上の厳しさでしたが ゆるやかなナメを歩いている時とはとても癒された気分になりました。いまでも景色を思い出すとにやけてしまいます。

沢は仰る通り色々な表情がありますね。ロープワークや地図読みを覚えてもっと色々な沢へ行ってみたくなりました。

また機会がありましたらよろしくお願いいたします。ありがとうございました。 【松本】



初めての沢登りに参加し、初めて沢靴を履き、水は少し冷たく感じましたが、夏は絶対気持ちいいんだろうと思います。水もすごくきれいでした。

沢靴は滑りにくくできていると聞いていましたが、はじめは半信半疑で歩を進めていましたが、その実力が分かってきました。でも気を抜くとけがの元ですね。

沢では、地図読みができないとダメということがよく分かりました。正に道なき道を進むということですね。地図読み勉強します。

ロープワークは、いろいろな機会に何度か教えていただけていますが、繰り返し練習することの必要性を感じました。（記憶力がよいもので・・・）

沢は、クライミング&ハイキング両方の要素・ノウハウが必要なジャンルなのでよい勉強になります。出溪口までの道のりが少し大変でしたが、楽しく参加させていただくことができました。これを機会に是非お誘いください。よろしくお願いします。 【江橋】

☆ロープワーク講習

実際の急斜面での訓練は、真剣に取り組むことができました。
ロープマン、ATCガイドを实际使って、登下降訓練できました。
すんなり自分でセットできるようになりたいです。
自己ビレイの方法や、カラビナの掛け替えなどは、覚えることができました。
結び方などは、普段も繰り返しやってしっかり覚えたいと思います。

☆地図読み

地形図がわかるようになりたい、コンパスの使い方もまだよく理解できていないので、勉強したいと思います。

沢登りではホールドやスタンスを見つけながら（教えてもらいながら）
滝を登るのは、緊張感があります。
水の勢いもけっこうある中、片足滑って上半身水被った時はヒヤッとしましたが
持ちこたえて登った時は楽しくなりました。
ナメをひたひた歩くのも気持ちがよかったです。

詰めはきつかったけど、そのあとの樹林に囲まれた癒しの稜線歩きと
その先の鉄砲木ノ頭からどんと姿を見せた富士山と山中湖の絶景は素晴らしかったです。

沢登りは体力的に自分には難しいという気持ちでした。
初級でしたら頑張れば行けるなという気になりました。
今回は参加できてほんとによかったです！！
ありがとうございました。
またよろしくお願いします。 【高地】

沢登り講習ありがとうございました。
今時の登山と言えば道標や登山道、施設等は完備され、地図やコンパスは持っていても見ることが無いのが一般的なような気がします。
ところが沢登りは登山の全てが凝縮されているようで、今回の講習は大変勉強になりました。
当たり前と言ってしまうかもしれませんが、読図やロープワークが出来なければ先には進めません。
技量のステップアップにはもってこいだと思います。
今回は沢歩きがメインでしたが、時間が許すのであればじっくり読図がしてみたいです。
一般の登山では四つん這いで登るなんてあり得ないことで、堰堤越えでは四苦八苦し、やっとのことで道に出た時には安堵感が広がりました。その後の峠での富士山と山中湖の構図が素晴らしく、
霞んでいたのが勿体無かったですが感動のご褒美でした。
「登山とは冒険である」そんな言葉があるのであればぴったりはまる今回の沢登りでした。
勤務の都合上思うように参加できないのが実情ですが、機会を見つけてぜひ沢登りに参加したいと思っています。 【飯田】

絶好の沢日和にめぐまれ楽しい1日を過ごす事が出来ました。18人と言う大部隊でルート選定から世話役の方々には色々ご苦労様頂いた事と思います。ありがとうございます。帰ってから早速ガイド本を広げてここも行ってみたいな、あそこも面白そうだなと楽しんでいます。また機会ありましたら是非よろしくお願いします。 【砂田】

以 上